

## 第 68 回 SSN 勉強会

### 小学生に伝える鳥の基礎知識 III

片岡真智子（野田市）

日 時：2015 年 11 月 27 日（金） 9:00～13:30

場 所：船橋県民の森（船橋市）

講 師：谷 英男 氏

参加者：指導員 15 名 会員外 1 名

勉強会のテーマは「野鳥たちにとって冬の生活は」です。朝方の冷え込みは冬の到来を感じさせるものでしたが、受講生の防寒対策は完璧でした。

①針葉樹・広葉樹をバックにした駐車場、②元屋敷（研修棟さざんかの家）周辺の庭・林・畑地、③周りに農地が点在する川（二重川）沿いの道、④公園内のキャンプ場やグラウンドと各々異なった環境で講義が続きました。

野鳥観察では、先ずまわりの風景を眺めることから始める。例えば、

- ・周りの木々や草にはどんな種や実がついているかな？
- ・その種や木の実を食べるのに適している嘴のかたちは？
- ・明るい環境（畑や草原）か、暗い環境（林の中）か？…

等々 順に調べていくこと。そうすれば現れる鳥が予測できるということを学びました。当日いただいた資料の他にも、手作りの資料が次々出てきました。日本列島の地図上に書き込まれた「渡り鳥の解説」や「エクリプスの図解」はとても解りやすいものでした。人間社会に置き換えた説明（合コン、プロポーズ、プレゼント、健康、経済力）に納得しました。体を使った「ものさし」は道具の準備なしで、いつでもどこでもできそうです。コース設定の原則「太陽を背に」は、逆光では鳥が見にくいということだけではなく、双眼鏡の取り扱い上子ども達に対して大切な配慮だと気付きました。

昼食後の講義は谷講師の使い込まれた本や日頃活用しておられるグッズの数々を披露していただきました。水鳥、留鳥、小鳥の 3 冊（3 色）に分類されたファイルの中身は充実していました。図鑑を何冊も持つよりそれぞれのファイルの中に伝えたいことすべてが網羅されています。3 色のファイルを用意するのは簡単だけど…内容をまとめるのは至難の業です。お話の全て、資料の数々、工夫を凝らしたグッズ、どれもこれもいい勉強になりました。子ども達が楽しみながら鳥に親しんでくれることを目指して、各自で、工夫を重ねて、「自分なりの資料作り」をしていくことが今日の宿題のようです。

澄み渡った青空、木々の紅葉を愛でながら、多くの基礎知識や案内方法を学びました。解散後、鳥のレストラン（柿の木）はメジロたちでにぎわっていました。

